

◇沿革の概要

- 昭和22年 4月 成松町立成松中学校、葛野村立葛野中学校、生郷村立生郷中学校、沼貫村立沼貫中学校、幸世村立幸世中学校創設
- 昭和29年 4月 成松中学校と葛野中学校が成松町葛野村組合立氷上中学校と改称
- 昭和30年 7月 町村合併により、組合立氷上中学校は氷上町立氷上中学校に、村立生郷中学校は町立東中学校に、村立沼貫中学校は町立南中学校に、村立幸世中学校は町立北中学校に改称
- 昭和36年 4月 4校が統合され氷上町立氷上中学校が発足(したがって昭和36年度が第1回の入学・卒業年度となる。但し、場所はそのままで、本校・東校舎・南校舎・北校舎と改称)
- 昭和39年 4月 本校と3校舎が統合され、現在の場所に氷上中学校が開校
- 昭和40年 1月 体育館竣工
- 昭和41年11月 県教委指定「安全教育」研究発表
- 昭和43年 7月 プール竣工
- 昭和44年10月 昭和36年10月7日の開校記念日を、本校創立記念日と定める
- 昭和59年11月 県教委指定「基礎体力づくり」研究発表
- 昭和60年11月 県教委指定「青少年育成特別実践」研究発表
- 昭和62年 県教委指定「高齢者との交流活動」推進校
- 平成 元年 3月 柔剣道場竣工
- 平成 2~4年 文部省・氷上町教委指定「武道指導推進校」
- 平成 4年 8月 国際交流海外派遣開始(平成17年まで)
12月 コンピューター教室完成
- 平成 5年11月 体育優良校全国表彰
- 平成 6年 2月 県教委・町教委指定「教育研究グループ奨励事業(情報)」研究発表
8月 体育館床改修工事
- 平成 7年 1月 阪神・淡路大地震被災
3月 阪神・淡路大地震被災による校舎破損部改修工事
- 平成 9年 2月 県教委・町教委指定「社会人活用による情報教育」研究発表
4月 国際交流事業受入開始(平成17年まで)
- 平成 9~11年 文部省委嘱事業「教育総合推進地域事業」
- 平成10年 9月 プール塗り替え修理
- 平成11~12年 県教委指定「人権教育推進モデル開発校事業」
- 平成12年 5月 校舎棟改築工事開始
- 平成13年 4月 校舎棟改築工事普通教室・管理棟竣工
- 平成14年 2月 校舎改築工事特別棟竣工
- 平成15年 4月 屋内運動場・屋外プール竣工
- 平成15~16年 文科省指定「学力向上フロンティア事業に係るフロンティアスクール」
- 平成16年10月 工事完了に伴う竣工式典
11月 丹波市発足により丹波市立氷上中学校に改称
- 平成18年 校内LANシステム改修工事、サーバー更新
- 平成19年 4月 校訓の制定
- 平成19年10月 学校給食開始
- 平成21年11月 全国学校体育優良校表彰
- 平成22年10月 創立50周年
- 平成23年10月 第37回全日本教育工学研究協議会全国大会 会場
- 平成26年 3月 グラウンド貯留地工事・暗渠排水工事
- 平成27年12月 武道館天井等落下防止対策工事
- 平成28年 2月 体育館天井等落下防止対策工事
- 令和02年 3月 新型コロナウイルス感染症予防及び感染拡大防止のため、市内小・中学校は3日~23日まで臨時休校
- 令和02年 4月 前年度末よりの新型コロナウイルス感染症感染の感染拡大がおさまらず、5月31日まで臨時休校
6月 6月より段階的に学校再開、15日から全時間の登校開始し8月7日までを1学期とする。
8月 8日よりGIGA スクール構想によるタブレットの個人配付を見据えた環境設定(無線LAN工事)が始まる。
- 令和03年 1月 20日にGIGA スクール構想によるタブレット端末が生徒全員に配付される。
- 令和05年 3月 氷上中学校和便器洋式化改修工事完了